

## 間くずれの間取りの入力方法【補助線・グリッド編集の利用】

文書管理番号：1036-01

### Q. 質問

間くずれしている間取りを入力するには？

グリッドにのらない位置に壁などを入力するには？

モジュールが一部のみ変わる物件を入力するには？

### A. 回答

グリッドにのらない位置に壁などを入力したい場合は「補助線」を利用する方法と、「グリッド編集」を利用する方法があります。

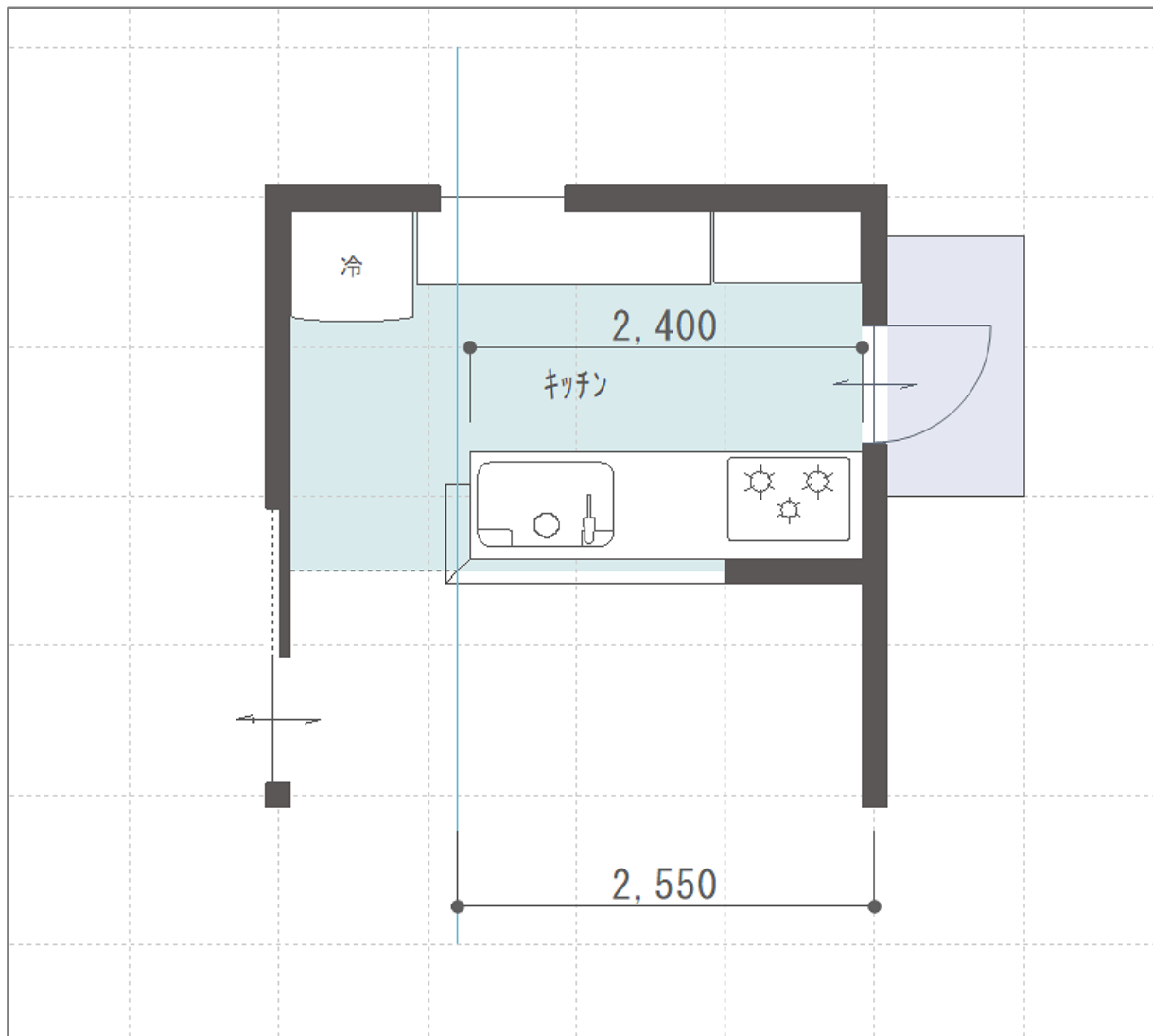
「補助線」はグリッドと同じように、カーソルをスナップ（吸着）することができます。



「グリッド編集」は、グリッド間隔が一部変わるような間崩れしている物件を入力する際に使用し、作図しやすいようにグリッドの間隔を調整できます。

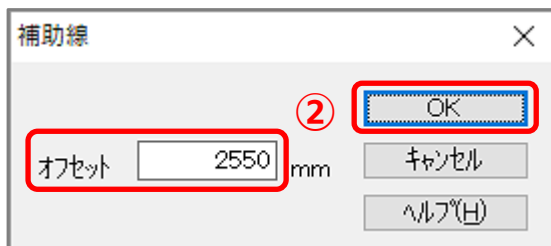
プラン図で「補助線」を利用した入力方法と、「グリッド編集」を利用した入力方法を、それぞれ説明します。

## 操作手順：補助線の利用

ここでは、プラン図で 2400mm 幅のキッチンを設置するために、壁厚を考慮して 2550mm（キッチン 2400mm+壁厚 150mm）の長さの壁を配置する手順を説明します。

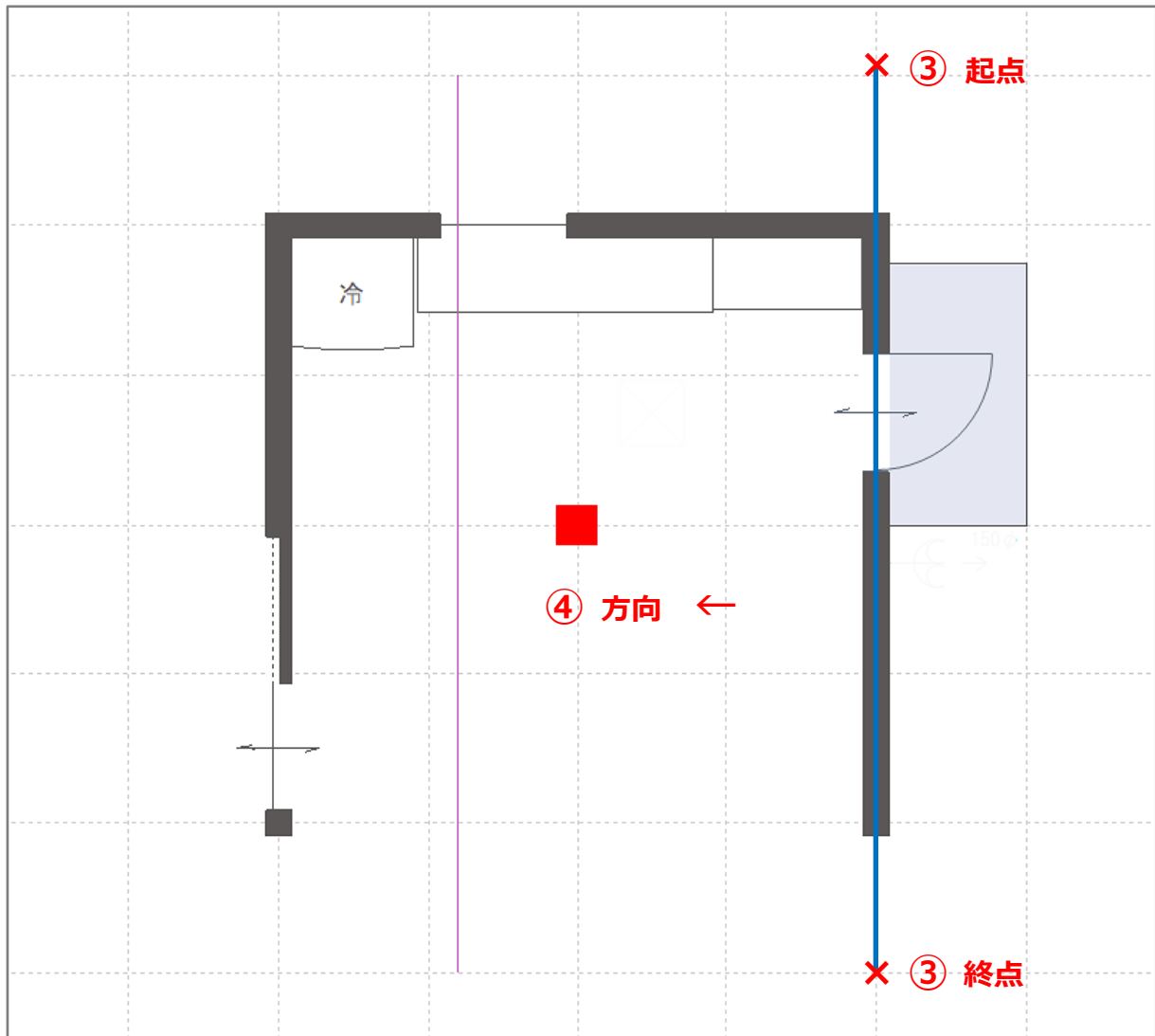


- ①  (プラン図)で、 (補助線)をクリック  
\* 補助線のダイアログが表示されます。
- ② オフセットに「2550」mm と入力し、「OK」をクリック



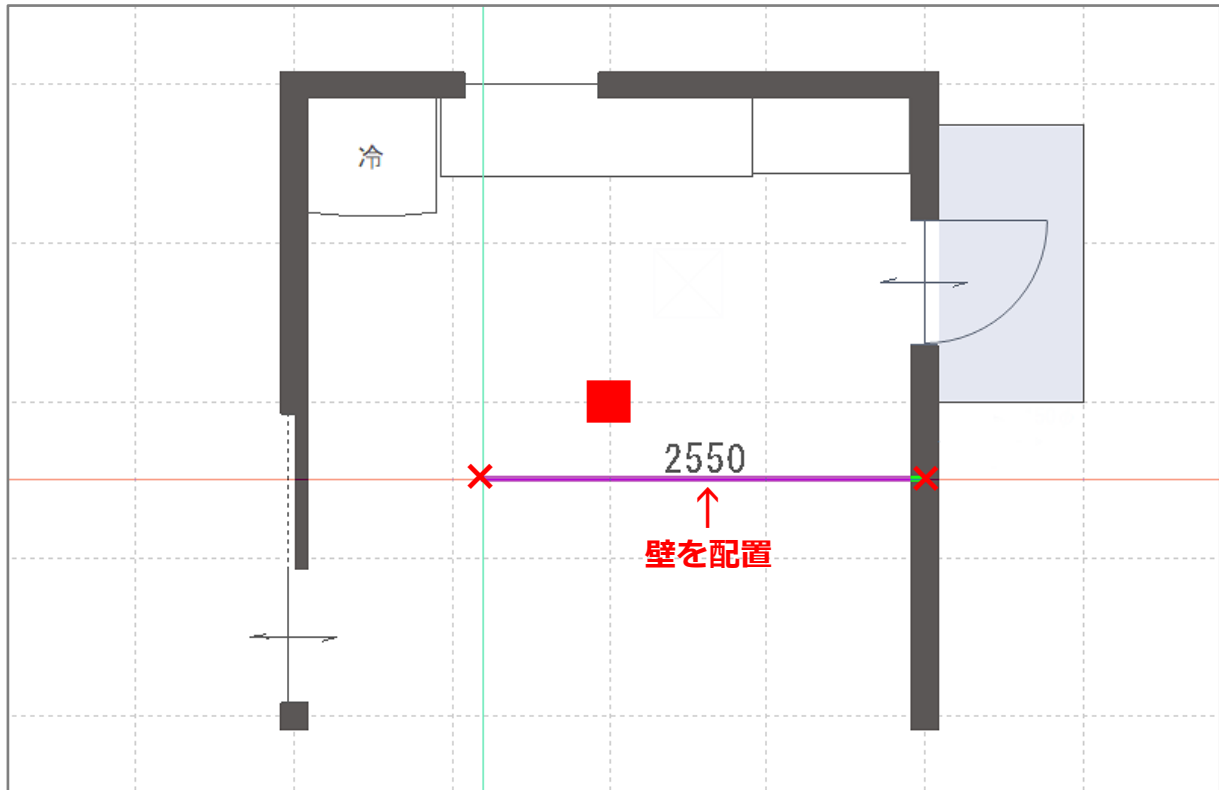
\* オフセット値は 0mm でも入力可能です。その場合は単線入力となります。

- ③ オフセットの基準となる壁芯上に、起点-終点を指示
- ④ 補助線を配置したい方向でクリックし確定



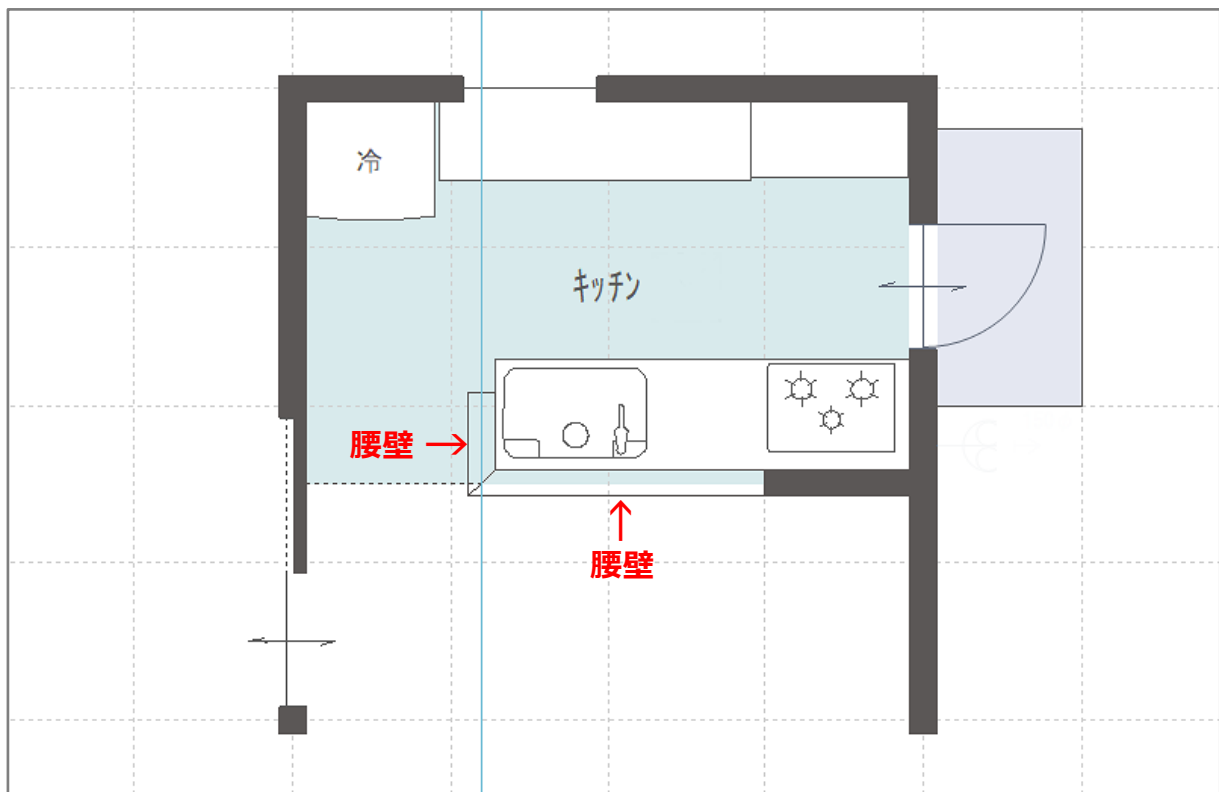
- \* 起点-終点で指示した基準位置から、オフセットで指定した長さの位置に補助線が入力されます。
- \* マウスを指示する方向により、補助線のプレビューが表示される位置が変わります。
- \* オフセット値が 0 mm の場合、方向の指示はありません。

## ⑤ 補助線上に壁を配置



\* 補助線の端点、補助線の交点、および補助線とグリッドの交点には、カーソルがセット（スナップ）されます。

## ⑥ 部屋名を設定し、2400mm 幅のキッチンの部品を配置



- \* 今回は全壁を配置後、一部を腰壁にしました。
- \* 入力した補助線は、右クリックの「伸縮」を利用して、延長・短縮することができます。
- \* 補助線の「伸縮」につきましては、こちらをご覧ください。


[\[1037\]補助線の伸縮方法](#)

## 参考

補助線は、図面出力や画像出力には出力されません。

図面出力や画像出力に出力したい場合は、それぞれで出力対象とする設定に切り替えます。

### ● 図面出力で補助線を出力したい場合



- ①  (プラン図)の「設定」⇒「1/100 図面設定」⇒「自動生成」をクリック
  - \* 自動生成部材の設定画面が表示されます。
- ② 「その他」のタブをクリックし、「補助線を常に図面出力しない」のチェックを外し、「OK」をクリック

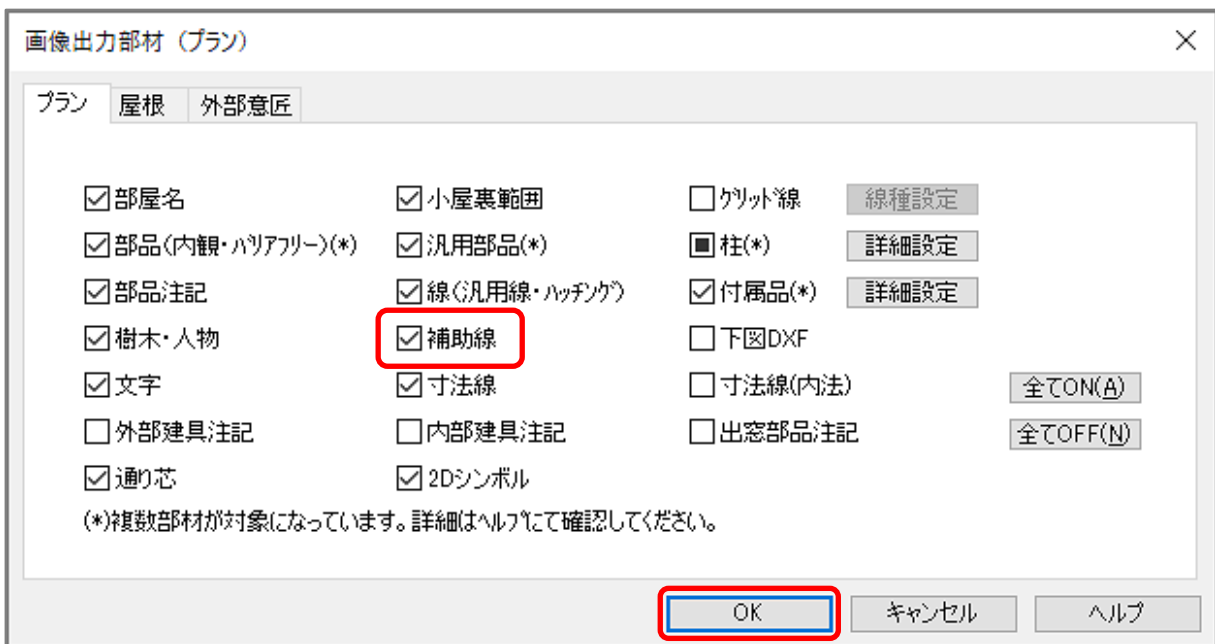


- ③ プラン図の画面表示を「1/100 平面図」に切り替え、「表示部材」で補助線が ON になっていることを確認
  - \* 図面出力に補助線が出力されるようになります。
  - \* 「1/100 平面図」の「表示部材」や図面出力の設定については、こちらもご覧ください。

[\[1007\]平面図の図面出力の設定方法](#)


● 画像出力で補助線を出力したい場合

- ①  (画像出力)をクリック
  - \* 画像出力の画面が表示されます。
- ②  (出力部材)をクリック
  - \* 画像出力部材 (プラン) の画面が表示されます。
- ③ 「補助線」のにチェックを入れ、「OK」をクリック



- \* 画像出力に補助線が出力されるようになります。

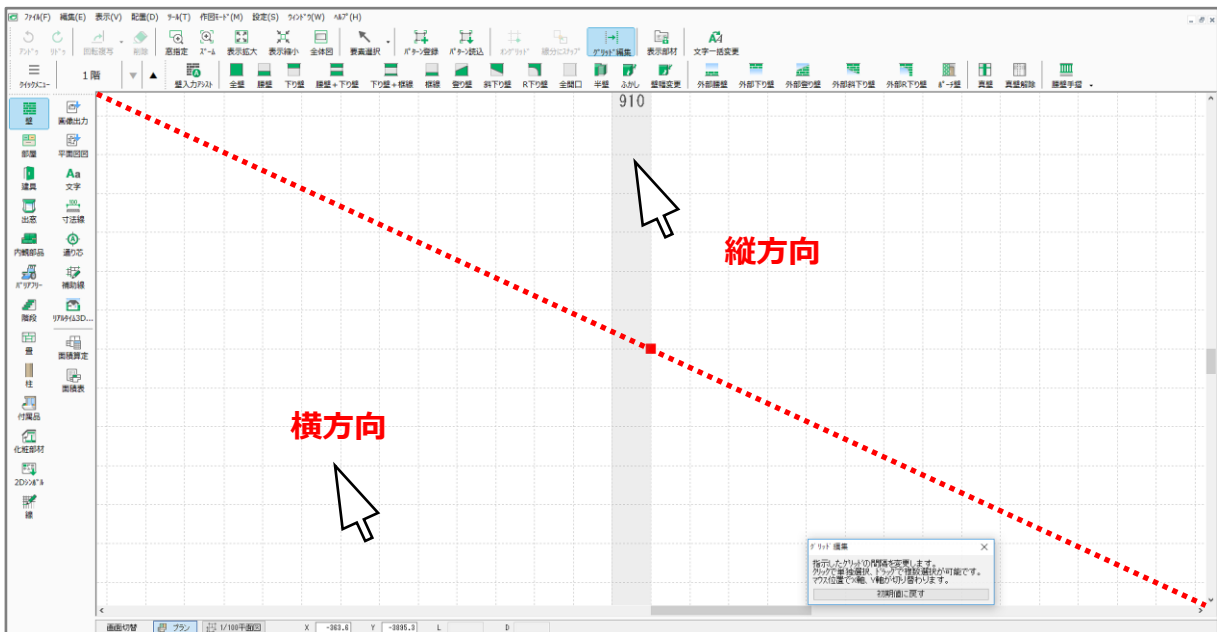
## 操作手順：グリッド編集の利用

- ①  (グリッド編集)をクリック
  - \* 画面右下にグリッド編集の画面が表示されます。
  - \* 「設定」⇒「グリッド編集」を選択してもかまいません。
- ② 変更したい2つのグリッドをマウスでドラッグ

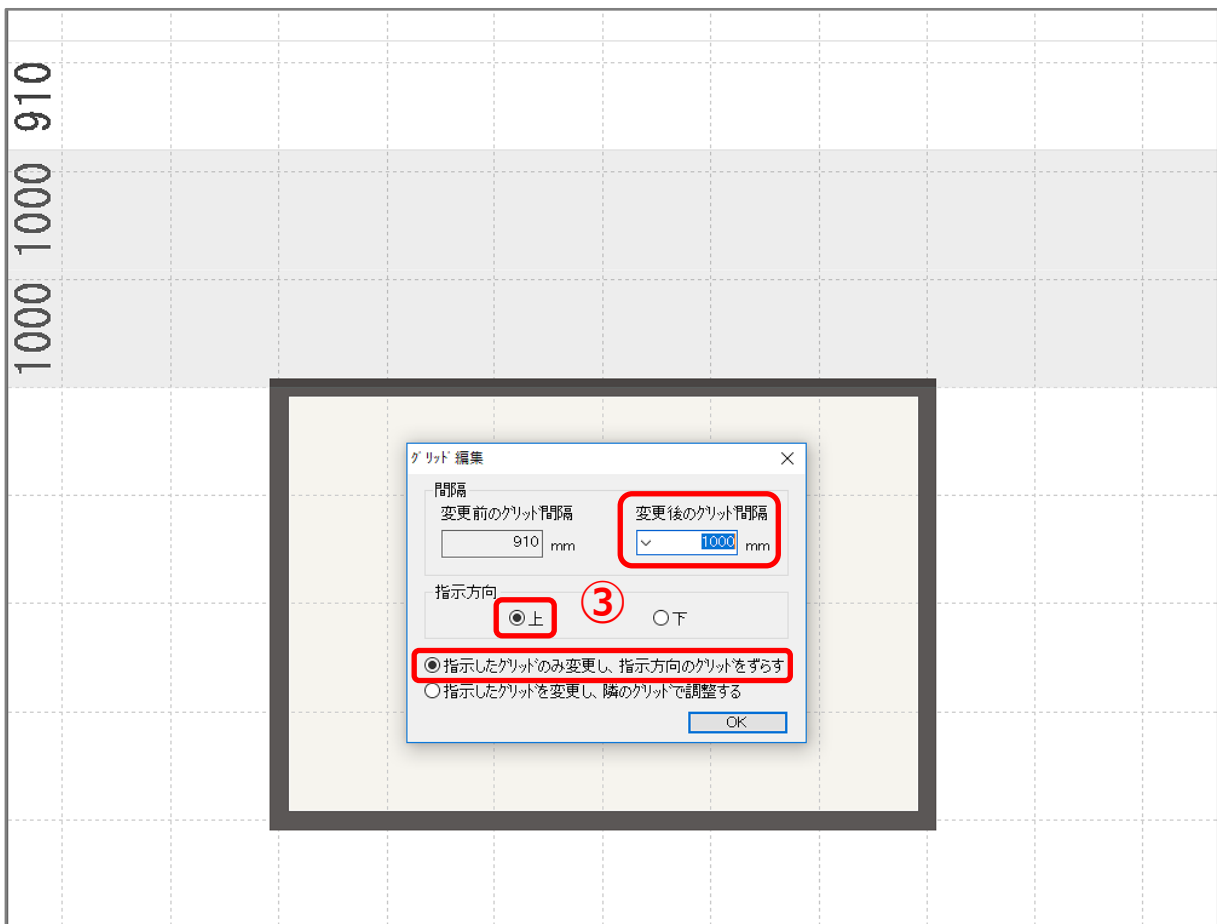


- \* ドラッグで選択した2つのグリッドがグレーになり、グリッド編集の画面が表示されます。
- \* クリックで単独選択、ドラッグで複数選択が可能です。

- \* マウスで示したグリッドがグレーになり、マウスの位置により、選択されるグリッドの方向が縦と横で切り替わります。



- ③ 変更後のグリッド間隔を「1000」mmにし、指示方向を「上」、「指示したグリッドのみ変更し、指示方向のグリッドをずらす」を選択



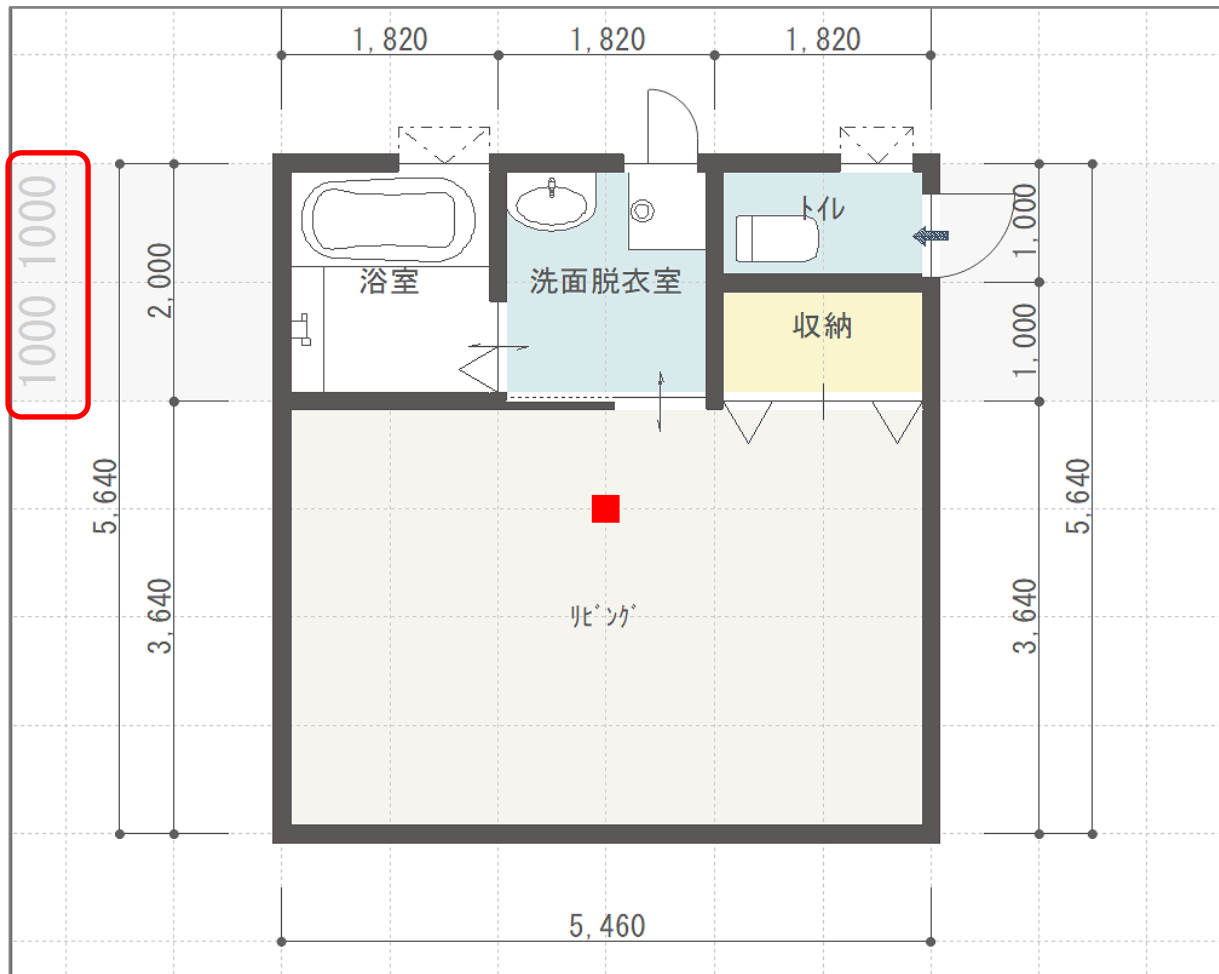
- \* 指示方向は、マウスの移動でも変わります。



④ 「OK」をクリック

\* グリッド間隔が変わります。

⑤ 変更したグリッド間隔を利用して、壁などを配置

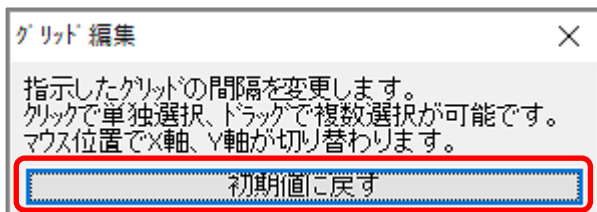


**【注意】**


壁などの部材を入力後にグリッド編集で間隔を変更しても、壁などの部材は編集したグリッドに連動しません。

**【参考】**

グリッド編集で移動したグリッドを移動前の状態に戻したい場合は、グリッド編集ダイアログの「初期値に戻す」をクリックします。



## 注意

- 作業は (オングリッド)で行ってください。
- グリッドの分割を細かく設定して作業を行うと、入力時にずれが生じやすくなります。  
グリッドにスナップしない位置に作図をしたい場合は、グリッドの分割はあまり細かくせずに、「補助線」や「グリッド編集」をご利用ください。
- 「グリッドの間隔／グリッドの分割数」が、割り切れない数値になる分割数（910mmのグリッドに対し、3分割や6分割など）に設定すると、端数レベルのずれが生じる場合があります。  
グリッドの分割数は、割り切れる数値に設定して作業を行い、グリッドにスナップしない位置に作図をしたい場合は、「補助線」や「グリッド編集」をご利用ください。